

農業人」紹介

(平成28年5月取材)

周囲の厚い支援に感謝

就農を考えるようになってから、いくつもの候補地を訪問しましたが、自分には山形県が適していると思いました。

農作物の中で甘い果実は最も魅力があり、さくらんぼをはじめ果樹の生産が盛んな山形県内陸部を就農地と決めました。

とは言っても、東京出身の私が親戚もない山形の土地で農業を始めることには大きな不安がありました。

しかし、研修後、いざ農業を始めてみると、周囲の農家の方々が畑を見に来て助言してくださったり、出荷に協力してくださったりと、厚い支援をいただくことが出来ました。

前職は競争の世界でしたが、農業は地域の共同体で協力して取り組んでいる感じがします。私が今農業を出来ているのは、周囲の御支援があつてのこと。感謝の気持ちでいっぱいです。

栽培技術でも、販売面でも課題は多いですが、相談に乗っていただける環境にあることが心の支えになっています。

〈これから就農を目指す人へのアドバイス〉

農業は孤独なのかと思っていましたが、そうではありませんでした。地域の人とのお付き合いが大事です。

石川 夏海さん

【出身地】 東京都

【就農前の職業】 自営 (アパレル)

【就農年度】 平成26年度
(H24年11月から独立就農者
育成研修で2年間研修)

【経営概要】 さくらんぼ80a、桃30a



家族で共に働く幸せ

結婚を機に新庄市の夫の実家で生活するようになりましたが、途中、仕事の関係で夫が十数年間県外に赴き、別居生活を送りました。

その経験から、家族で営める農業に魅力を感じるようになり、新庄市若者園芸実践塾での研修を経て、平成23年度に就農しました。

当初はねぎ10aから始め、翌年60aに増やしました。その後、周年栽培となるような作物構成を試行錯誤して選定しました。現在は、ねぎのほかフキノトウ、たらの芽、アスパラガスなどを栽培しています。

ゼロからのスタートなので、土地を借りたり機械を買ったりと大変でしたが、「新規就農定着サポート事業」で営農費用の一部を支援していただいたお陰もあり、やっと農業所得で生活できそうなところまで来ました。

現在は、私、夫、義母の3人での農作業ですが、今年度中に自宅に加工所を設けてフキノトウを使ったお菓子づくりを始める予定もあり、再来年くらいには人を雇用することも考えています。

〈これから就農を目指す人へのアドバイス〉

農業は楽しいものです。失敗しても、前を向いて、希望をもって、そして楽しんで、頑張ってください。また、悩んだときに手を差し伸べてくれる農業の先輩・仲間を大切にしてください。